



茨城の土木遺産

反町閘門そり まち (茨城県自然博物館屋外展示、坂東市)

明治33年(1900年)竣工

利根川の増水時に飯沼川を遡上する洪水による飯沼地域の湛水被害を防除するため、明治33年に建設された。全長(河川横断方向)約22m、幅約6.35mのレンガ造り三連アーチの閘門で、設計者は笠井愛二郎氏。県では同閘門が美しい三連アーチの大型水門として長く親しまれており、利根川沿川地域における内水対策事業のシンボリック施設として歴史的にも貴重なものであることから、平成6年、近隣の県自然博物館の建設に合わせ、博物館園庭に部材の一部を活用して復元。屋外展示施設として活用している。

主な内容

- ▼ 関東甲信越地方ブロック会議を開催
- ▼ 建設フェスタ3年ぶりに開催
- ▼ 常設4委員会を開催
- ▼ 建女ひばり会がドローン体験会

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

直轄工事への参入促進を要望

関東甲信越地方ブロック会議

全国建設業協会（全建）による令和4年度の関東甲信越地方ブロック会議が10月5日、都内の経団連会館で開催され、本会からは「直轄工事への新規参入の促進」を訴え、理解を求めました。会議では国土交通省の幹部などを招き、各都県協会からの要望事項等について活発に意見交換を行いました。

あいさつで関東甲信越地方建設業協会長会の青柳剛会長は「6月に閣議決定された骨太の方針は『国土強靱化にとって必要な予算の確保』『国土強靱化5か年加速化対策後を見据えた取り組み』『中長期的な見通しの下での安定的・持続的な公共投資の推進』『資材価格の高騰を踏まえた必要な事業量の確保』の4点。建設業の課題は人材確保育成、生産性向上、災害対応組織力の強化に集約される。本日の議論を、それぞれの協会活動に役立ててほしい」と要請しました。

全建の奥村太加典会長は「コロナ禍、資機材の価格高騰や品薄などの状況において経済活動をさらに活性化させ、地域建設業が地域の守り手として安定した経営基盤を築いていくためには、社会資本整備を着実に進めていくことが不可欠。魅力ある地域建設業を目指し、諸課題について忌憚（きたん）のない意見を」と望みました。

来賓の国交省不動産・建設経済局の長橋和久局長は「担い手確保が最大の課題である。持続的な安定的な経営環境の確保、働き方改革による整備された労働環境が大切になる。資材高騰も考慮した必要な予算確保へ努力する」と約束しました。

国交省大臣官房の佐藤寿延技術審議官は「予算について概算要求、事項要求で確保へ全力に取り組んでいる。建設業の新3K実現へ忌憚なき意見をいただきたい」と述べました。

関東地方整備局の廣瀬昌由局長は「整備局は地



域建設業とコミュニケーションを取り、本省と必要な見直しを進めるのが役目。建設業を取り巻く状況は厳しい。地域、現場の事情に即して必要な対策を進めていきたい」と語りました。

会議における各協会からの要望事項

- ◆官民の技術者不足への対応（千葉県）
- ◆直轄工事への新規参入の促進（茨城県）
- ◆防災・減災、国土強靱化の「5か年計画」の策定と安定的持続的な予算の確保（新潟県）
- ◆働き方改革に伴う現場管理費（職員給与、福利厚生費など）の根本的な見直し（山梨県）
- ◆建設工事標準請負契約約款第30条（不可抗力による損害）の改善（長野県）
- ◆総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置（群馬県）
- ◆建設資機材の価格高騰への対応（神奈川県）
- ◆改正品確法の市町村への徹底（埼玉県）
- ◆週休二日制導入に伴う人件費等への対応（栃木県）

建設フェスタ2022 開催

建設業の魅力を発信

本会をはじめとする県内の官民の建設業関係団体は10月8日、「建設フェスタ2022」をひたちなか市の笠松運動公園屋内水泳プール西側特設会場で開催しました。新型コロナの影響で開催するのは3年ぶり。前日までの雨も止み、親子連れなど1万5,000人が来場され、参加した団体等は建設業の魅力や公共事業の必要性などをアピールしました。



親子共演丸太切り



建設作業体験リレー



高所作業車体験



重機試乗



親子連れなど1万5,000人が来場しました

経営企画委員会

人材確保や適正工期協議



本会の経営企画委員会（鶴田哲男委員長）が9月20日に水戸市の協会本部で開かれ、県内の建設関連団体から出された意見や要望等について協議。要望は人材の確保・育成や適正工期の確保などが多く、共に発注者等へ要望していくことが大事で、元請けとして意見交換をしながら課題解決へ努力していくことが重要との意見が出ました。

土木委員会

週休2日や総合評価を議論



本会の土木委員会（梅原基弘委員長）が9月20日に水戸市の協会本部で開かれ、茨城県が取り組んでいる完全週休2日制促進工事や総合評価方式などについて意見を交わしました。梅原委員長は県内の建設業が直面している課題などに触れながら「忌憚（きたん）の無いご意見を伺いたい」とあいさつしました。

建築委員会

品質確保へ県と協議



本会の建築委員会（沢畑正剛委員長）は9月5日、茨城県土木部建築3課（建築指導課、営繕課、住宅課）との意見交換会を水戸市の協会本部で開催。工事の品質確保や生産性向上を推進していくため、入札参加資格（格付）や週休2日制などを協議しました。沢畑委員長は「課題解決に積極的に取り組みたい」などとあいさつしました。

人財開発委員会

セミナーや人材確保で協議



本会の人財開発委員会（高橋修一委員長）が9月13日に水戸市の協会本部で開かれ、委員会が企画するセミナーの内容や県内の建設関連団体から出された意見や要望等について協議を行いました。セミナーは建設ディレクターをテーマに開催します。建設関連団体からの要望では人材確保・育成等について意見を交わしました。

建女ひばり会

県土木部女性職員と座談会



本会の「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）は9月2日、茨城県土木部の女性職員との座談会を水戸市の水戸京成百貨店で開催。ワークライフバランスをテーマにグループディスカッションで話し合い、理想の生き方などを探りました。

建女ひばり会

ドローン飛行体験会



建女ひばり会（柳瀬香織会長）は9月28日、ドローンの飛行体験会を常陸大宮市の西部総合公園で開催。ドローンの活用や法規制などを学び、飛行体験を行いました。参加者からは「資格を取得し、運用してみたい」などの声がありました。

書類簡素化へ

支部ごとに説明会



本会は、茨城県土木部と共に「土木工事書類標準化ガイド案」と「県土木部検査書類限定型モデル工事（試行）案」の説明会を12支部ごとに9月6日から22日まで開催。理解を深めました。標準化ガイドは10月から適用しています。

標準化ガイドは、工事書類を簡素化しインフラ分野のDXを推進するために作成。標準的な仕様を示して簡素化を図ります。検査書類限定型モデル工事では、受注者が準備する説明用資料などを削減し、検査の効率化を図ります。

水戸工高生に講習

2級土木・建築受検対策



土木科の生徒に施工管理などを講義

本会は建設業への入職を促進するため、県立水戸工業高校の2年生を対象に、本年度の2級土木施工管理技術検定と2級建築施工管理技術検定の第1次検定受検対策講習会を行っています。講師を派遣して学んでもらい、合格を後押しします。

2級土木施工管理検定

二次合格へ講習会

本会は、茨城県土木施工管理技士会と共に本年度の2級土木施工管理技術検定の第二次検定対策講習会を9月20日と21日に水戸市の県建設技術研修センターで開催。参加者は、合格へ向けて記述の書き方などを研修しました。

水戸支部



160 人が献血に協力

水戸支部（下田德行支部長）は9月15日、「愛の献血会」活動を水戸市の茨城県建設技術研修センターで行いました。会員企業の従業員など160人が協力。水戸支部は例年、献血に協力しており、今回で40回目。下田支部長は「多くの方にご協力いただき、感謝している。社会への貢献活動として今後も続けていきたい」と話しています。

鉾田支部



安全大会、技術者研修会を開催

鉾田支部（羽生義隆支部長）は9月7日、安全衛生大会と技術者研修会を支部会館で開催。安全衛生大会では2つの講話を通じて安全に関する意識と知識の高揚を図りました。技術者研修会では、茨城県鉾田工事事務所（秋山文昭所長）と共に建設現場における生産性（施工効率）向上等を目指した取り組みを学びました。

水戸支部



CCUS活用へ研修会

水戸支部は9月6日、建設キャリアアップシステム（CCUS）への理解を深めるための講習会を水戸市の協会本部で開催。システムの役割や内容を研修し、導入促進へ理解を深めました。大貫茂男同支部経営企画委員長は「大変に重要なシステムであり、よく理解していただきたい」と充実した研修に期待を寄せました。

潮来支部



県出先事務所と意見交換会

潮来支部（松崎里志支部長）は9月5日、茨城県潮来土木事務所（柏谷聡所長）など支部内の県出先事務所との意見交換会を潮来土木で開催。支部からは電子入札の工事内訳書の閲覧や単品スライドの簡素化などについて要望しました。松崎支部長は「建設業のあり方や災害に備えた協力体制強化に資する意見交換ができれば」とあいさつしました。

太田支部



CCUS講習会を開催

太田支部（瀬谷實支部長）は9月9日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）と共に建設キャリアアップシステム（CCUS）についての講習会を県常陸太田合同庁舎で開催。利用状況や利用手順など導入促進に向けて理解を深めました。瀬谷支部長は「講習会で学んだことを各会社で活用してもらいたい」と呼び掛けました。

常総支部



インボイス制度で説明会

常総支部（中川原勇支部長）は9月9日、インボイス制度と納税証明書のオンライン請求に関する説明会を開催。インボイス制度については、消費税の基本的な仕組みや制度概要、売手側の留意点、買手側の留意点などを研修。納税証明書のオンライン請求についても学びました。

女性技術者配置で加点 県土木部 総合評価を改定

茨城県土木部は10月から、総合評価方式の制度を一部変更しました。変更点は大きく3点で①「工事成績評定」の評価項目および評価基準を一部改正②「優良工事の受賞」の評価項目を廃止③「若手技術者の配置」の評価項目に「女性技術者」を追加。詳細は土木部検査指導課のホームページに掲載されています。

建災防全国大会受賞者

本県の安全衛生表彰受賞者（敬称略）

- ◆功労賞＝瀧文雄（㈱瀧工務店）
- ◆功績賞（安全衛生推進者）＝千葉和男（東水建設㈱）、重田弘明（㈱鹿島建設）
- ◆優良賞＝石塚産業㈱、池田林業㈱、松浦建設㈱、サコー建設㈱

労災防止の功労者表彰

県産業安全衛生大会

建設業労働災害防止協会茨城県支部など県内の労働災害防止団体による令和4年度の茨城県産業安全衛生大会が10月4日に水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で開催され、労働災害防止や職場の健康づくりに尽力した企業などを表彰しました。

本会関係の受賞者は次の通りです（敬称略）。

【茨城労働局長表彰】◆功績賞＝大藤博文（太田労働基準協会会長）

【茨城労働基準協会連合会長表彰】◆事業場賞＝海老根建設㈱（大子町）

【建設業労働災害防止協会茨城県支部長表彰】◆事業場賞＝㈱飯島土建（日立市）、㈱大鶴（土浦市）、㈱秋葉工業（常総市）、櫻井建設工業㈱（龍ヶ崎市）◆現場賞＝㈱五霞建設（五霞町）、㈱岡田建設（常陸太田市）、㈱やすくら工務店（常陸大宮市）、㈱大地（鹿嶋市）◆功労賞＝滝田富祐（瀧田建設㈱）◆功績賞＝関根貴雄（㈱関根工務店）、石井広一（㈱石井工務店）、菅谷一成（㈱菅谷工務店）、神邦明（山九㈱鹿島支店）

令和4年度

茨城県技術者表彰受賞者

（9月表彰分）
※受賞者（企業名）
敬称略

【常陸太田工事事務所長表彰】

※優秀主任（監理）技術者

- ◆野内隆行（㈱梅原工務店）
- ◆佐川大毅（㈱井坂組）
- ◆臼井勇人（根本電興㈱）
- ◆佐藤智也（珂北開発㈱）
- ◆宇野晴彦（㈱根本工務所）

※現場代理人感謝状

- ◆水野魁竜（瀬谷建設㈱）
- ◆大木健太（㈱井坂組）
- ◆茅根大貴（㈱生田目工務店）
- ◆鹿内孝信（珂北開発㈱）
- ◆岩佐宗則（㈱根本工務所）
- ◆櫻井信市（㈱水府工務店）

【鉾田工事事務所長表彰】

- ◆田口正人（㈱内田建設）
- ◆伊東和慶（㈱伊東建設）
- ◆堀江光（㈱光建）
- ◆羽生貴之（㈱羽生工務店）
- ◆齋藤保男（㈱根崎工務店）
- ◆田山正明（㈱齊藤建設工業）
- ◆菅谷彰二（㈱菅谷工務店）
- ◆飯名実人（㈱田口建設工業）
- ◆田中淳一（㈱田中工務店）
- ◆齊藤一夫（齊藤建設㈱）
- ◆神野高広（㈱飯塚工務店）

◆榎原直輔（鬼澤建設㈱）

【土浦土木事務所長表彰】

※本所

- ◆千葉佳子（日東エンジニアリング㈱）
- ◆齋藤久雄（㈱霞工業）
- ◆齋藤誠（㈱齊藤建設）
- ◆宮本和幸（佐々木建設㈱）
- ◆宮田成功（㈱大鶴）
- ◆田中祐介（豊藤建設㈱）
- ◆中嶋基博（白田組土木㈱）
- ◆山田裕一（㈱大和田建設）
- ◆柴山敏明（㈱成財基業）
- ◆高田稔美（㈱高田工務店）
- ◆仁平博（東亜工業㈱）
- ◆附田照夫（㈱トヨシマ総合建設）
- ◆小森昌佳（星田建設工業㈱）
- ◆上野徳則（㈱ムラノ）
- ◆矢作知儀（成昌建設㈱）
- ◆濱野康（浜野商事㈱）
- ◆田中卓（原信田建設㈱）
- ◆浅野政浩（谷原建設㈱）

※つくば支所

- ◆来栖秀幸（㈱折本工業）
- ◆田寄雄士（池田技建工業㈱）
- ◆青嶋武巳（㈱新みらい）

【境工事事務所長表彰】

- ◆新井邦幸（㈱新井建設工業）
- ◆小野寺茂治（小沢道路㈱）
- ◆野本武（加藤建設工業㈱）
- ◆菊地修（㈱タカノ重機土木）
- ◆松田哲也（㈱菊池工業）
- ◆中澤達郎（森田建設工業㈱）
- ◆猪野雅也（㈱新栄開発）
- ◆高橋泰則（㈱高橋芝園土木）
- ◆荒川和輝（㈱福島工務店）
- ◆中村なおみ（㈱中村組）
- ◆倉持健一（倉持建設工業㈱）

【茨城港湾事務所長表彰】

※日立港区

- ◆鈴木太一（㈱秋山工務店）
- ◆塚本光一（株木建設㈱）

※常陸那珂港区

- ◆綿引大（菅原・常総特定建設工事共同企業体）
- ◆中野修（岡部・大曾根特定建設工事共同企業体）
- ◆宇佐美忠幸（鈴縫・東水特定建設工事共同企業体）
- ◆西野栄治（横信建材工業㈱）

令和4年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間

令和4年10月1日～令和4年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

アプリでの不法投棄の通報に 御協力ください!!

茨城県では、スマートフォンのアプリを利用して、不法投棄された廃棄物の状況等を、写真やコメント付きで、簡単に投稿できるようになりました。

県民の皆様の通報への御協力をお願いいたします。



◎不法投棄通報アプリ：PIRIKA（ピリカ）

世界最大規模のごみ拾いアプリケーション。
地域の清掃活動の活性化に活用され、これまでに約80万人以上が参加し、累計1.4億個以上のごみが回収されている。

ダウンロードはこちらから→ <https://sns.pirika.org/>

※詳しくは茨城県廃棄物規制課不法投棄対策室ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/haitai/fuhu/1fuhotokitaisaku/fuhoutokitaisaku.html>

〈問い合わせ〉

茨城県廃棄物規制課 TEL 029 (301) 3035

知ってほしい、より安心の制度。

掛金負担が軽減
契約者創設金制度がスタート
（労務費負担率4.0%以下）

手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円

労働者と企業の
リスクをカバー

今すぐ、ご加入を!

制度が変わって、安心充実。

法定外労災補償制度
建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業	労働安全衛生推進事業
茨城県（現）および前都・県民3歳以上の子どもに対して、関係機関等より小学校から大学までの各学期間中、返済不要の奨学金を継続して交付。	① 安全衛生用品の提供 ② 安全衛生ヘルメット・安全靴購入費用の助成 ③ 安全衛生推進表彰 等

公益財団法人 建設業福祉共済団
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112
Web 03-5561-1111

正確な開会の記録や資料請求はこちらまで **0120-913-931** 建設共済保険 検索 <https://www.kyousaidan.or.jp/>

10月・11月は建設共済保険加入促進月間です

会員の動向

〈代表者変更〉

▽常陸大宮支部

(株)井上工務店 井上 哲郎 → 井上 美智子

▽高萩支部

(株)秋山工務店 秋山 光伯 → 秋山 芳久

〈代表者氏名変更〉

▽潮来支部

(株)茂木工務店 関 伊津夫 → 茂木 伊津夫

〈社名変更〉

▽高萩支部

(株)岡部工務店 → (株)オカベ

▽竜ヶ崎支部

菊水サトー建設(株) → アーステック(株)

〈住所変更〉

▽土浦支部

北都建設工業(株) 土浦市田中2-9-6 →

土浦市虫掛3491